

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R 4 - 5号)

令和4年7月7日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和4年7月1日に伊勢湾、4、6日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

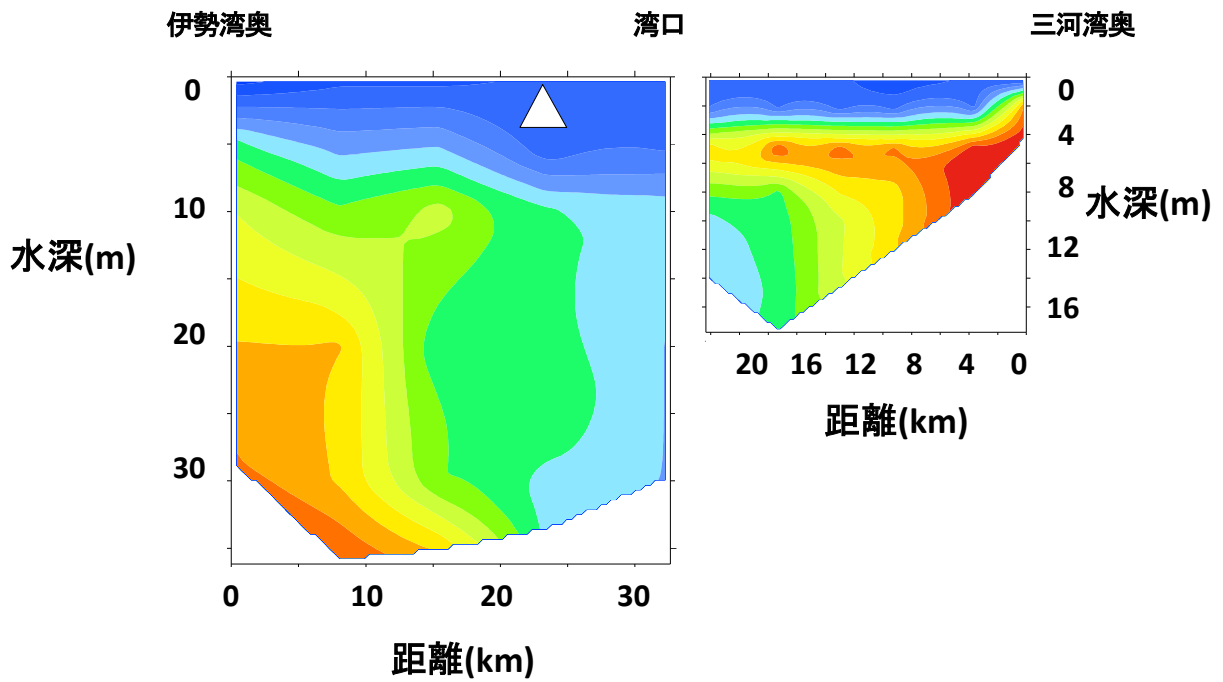
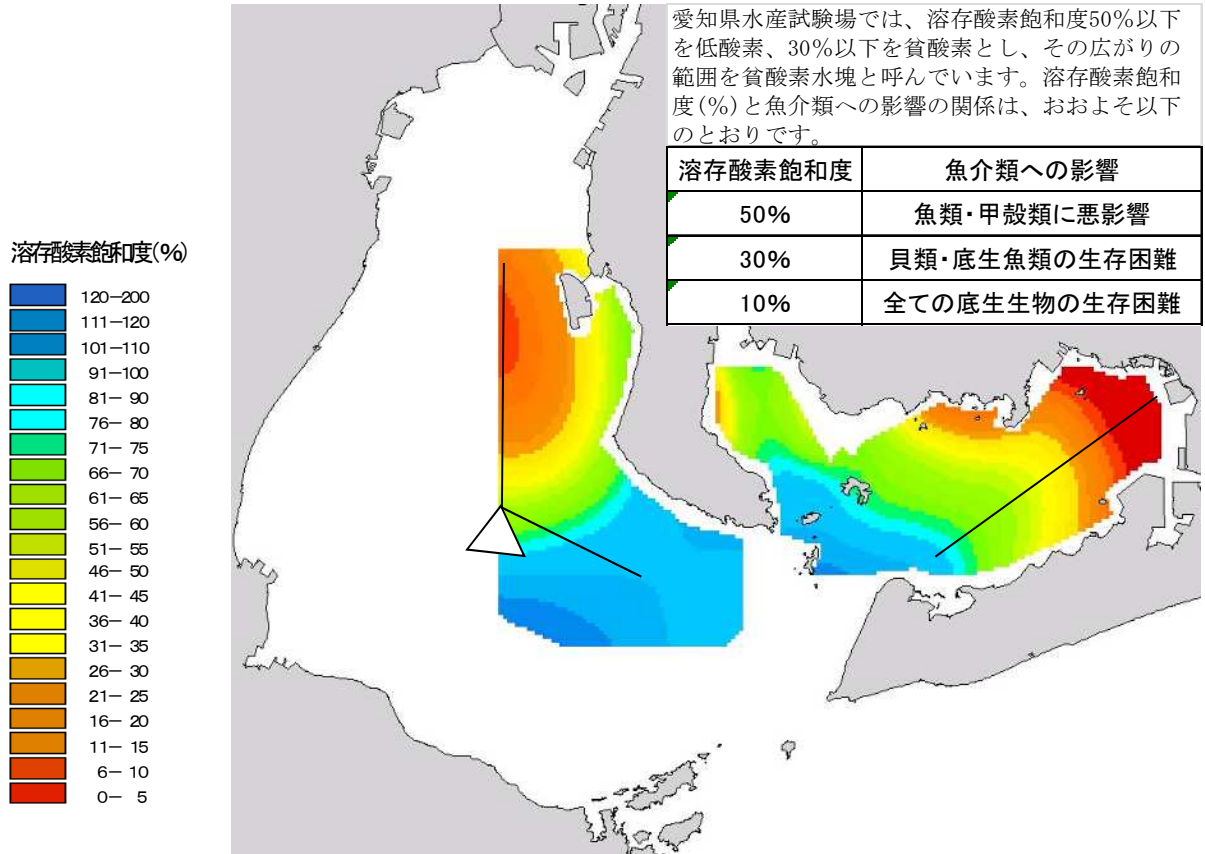


図1 伊勢湾(7月1日)・三河湾(7月4、6日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

7月1日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾の湾央で貧酸素水塊が確認されました。一方で、湾南部では先月下旬と比べ、底層の溶存酸素飽和度が高くなっています。湾南部の底層塩分が高くなっていることから、外海水が湾内に流入し、貧酸素水塊が縮小したと考えられます。

表底層間の水温差が大きくなっており、今後も真夏日が続く予報のため、成層が発達し貧酸素水塊が拡大すると思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	25.3~29.9	24.1~30.1
底層	16.8~22.6	30.0~34.1

三河湾

7月4、6日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の湾奥部と知多湾西部で貧酸素水塊が確認されました。鉛直分布図を見ると、湾中央部から湾口部では、水深5m付近に貧酸素水塊が見られ、底層は溶存酸素飽和度が高くなっています。湾口部の底層塩分が高くなっていることから、外海水が湾内底層に流入し、貧酸素水塊が持ち上がっていると考えられます。

表底層間の水温差が大きくなっており、今後も真夏日が続く予報のため、成層が発達し貧酸素水塊が拡大すると思われます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	26.7~29.3	24.9~30.5
底層	19.8~25.0	30.9~33.6

参 考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

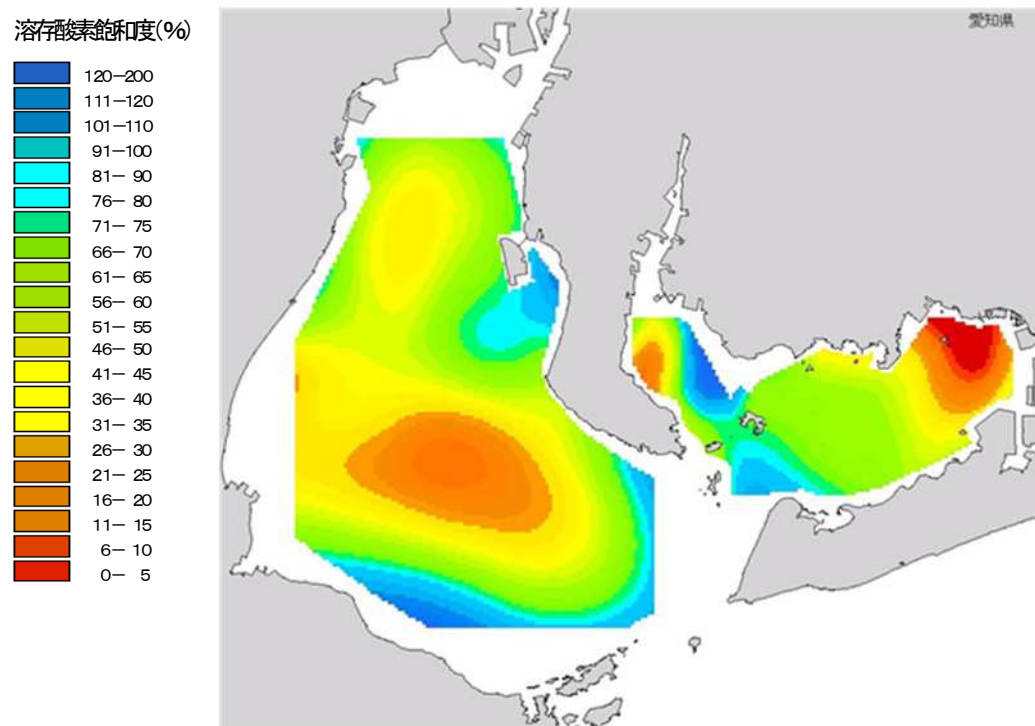


図3 令和4年6月20、21日(伊勢湾)、6月23日(三河湾)